

新潟大学の魅力と現在を発信

新潟大学季刊広報誌

花



NIIGATA UNIVERSITY
MAGAZINE

— R I K K A —

2013.SUMMER [No.5]

授業紹介 -教育の現場-

学生の課外活動&サークル紹介

Enjoy! 学生ライフ

注目される研究報告

シリーズ・対談

新潟大学 同窓会情報

Campus Information

特集 今と未来をつなぐ2日間

オープンキャンパス2013

学生の未来と夢をサポートする独自の制度

輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金



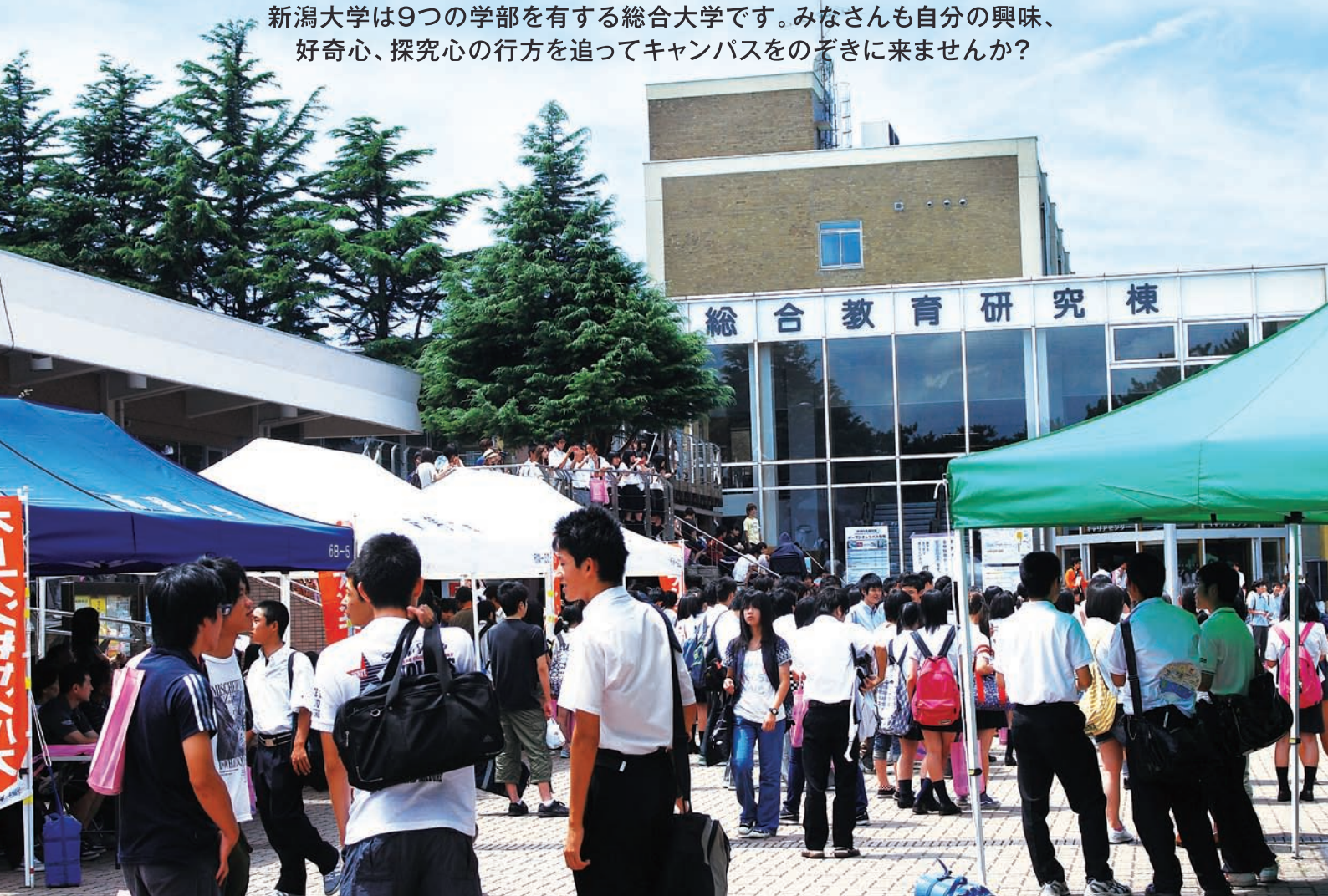
新潟大学

特集

今と未来をつなぐ2日間

オープンキャンパス2013

新潟大学は9つの学部を有する総合大学です。みなさんも自分の興味、好奇心、探究心の行方を追ってキャンパスをのぞきに來ませんか？



新潟大学の魅力が凝縮されたキャンパスイベント

今年もオープンキャンパスの季節がやってきました。今年も「知りたい・気になる」大学のいろいろにお答えするたくさんの方の企画を用意しています。在学生が主体となっており、学生のリアルな声が直に聞けると毎年好評のキャンパスツアーや、交流コーナー、サークル活動紹介。そのほか、奨学金や学生寮など、大学生活のサポート体制も分かりやすく解説します。また注目は、今年春に新しく生まれ変わった中央図書館。開放的で明るい空間は必見です。学部ごとの説明会や模擬授業、実験、研究室公開なども多数実施。みなさん気軽に足を運んで、新潟大学をリアルに体感してください。

今年のオープンキャンパスは…

五十嵐キャンパス

8/8 thu & 9 fri
10:00~15:30

旭町キャンパス

8/8 thu & 9 fri **8/9 fri**
(医学部保健学科) (医学部医学科・歯学部)
両日10:00~15:30

CONTENTS



03 特集

今と未来をつなぐ2日間

オープン キャンパス2013

06

学生の未来と夢をサポートする独自の制度

輝け未来!!

新潟大学入学応援奨学金

07

授業紹介 - 教育の現場 -

08

Enjoy! 学生ライフ

学生の課外活動
& サークル紹介

09

注目される研究報告

10

シリーズ・対談

11

新潟大学 同窓会情報

12

Campus Information

『六花』とは…

本誌のタイトルでもある『六花』とは、本学の校章のモチーフである「雪の結晶」を表す言葉。本学の校章は、シンボルマークであった学生章をモチーフに本学名誉教授 小磯 稔氏がデザイン化したものです。

六花

題字
野中浩俊(のなか ひろとし)氏
新潟大学名誉教授(教育人間科学部)。専門は、書道、富岡鉄斎研究。現在は、岐阜女子大学 教授

Cover Photo

今回の表紙を飾ってくれたのは、左が林 将吾さん(人文学部1年)、右が林 あいさん(教育学部1年)。ともにフレッシュな1年生で、たまたま同じ名字の二人がモデルで登場! 彼らは特集(p.04)にも出ていますよ。



新潟大学オープンキャンパス2013

学部・学科の主なプログラム



…旭町キャンパス [医学部保健学科] 8月8日(木)・9日(金) [医学部医学科・歯学部] 8月9日(金) …五十嵐キャンパス 8月8日(木)・9日(金)

医学部 医学科

場所: 医学部医学科棟
及び医歯学総合病院

- 全体説明会(概要説明・入試説明)
- 模擬授業(基礎系)
- 医学部教員・学生との懇談会
- 体験コーナー(下記4つのうち1つ)
- 連携テレビシステム実習
- 救急蘇生体験
- シミュレータ実習
- 模擬授業(臨床系)
- アンケート記入



医学部 保健学科

場所: 医学部保健学科棟

- 全体説明会
- 施設見学(3専攻に分かれて見学)



歯学部

場所: 有壬記念館及び歯学部棟

- 全体説明会(学部概要・入試概要)
- 模擬講義
- 卒業生による学部紹介
- 何でも質問コーナー
- シミュレーション実習



工学部

場所: 工学部棟

- 全体説明会
- 学科紹介・模擬授業
(機械システム工学科・電気電子工学科・
情報工学科・建設学科・福祉人間工学科・
化学システム工学科・機能材料工学科)
- 工学力教育センター紹介
- 資料配付
- 各学科等のブースにて、在校生交流コー
ナー等、イベントを実施
- ドライミスト散布



農学部

場所: 農学部棟

- 全体説明・学科説明・入試概要説明
- 実験・実習
- 模擬授業
- 質問・相談コーナー
- 研究紹介パネル展示(全学科)
- 学部紹介DVD



経済学部

場所: 人文社会科学系棟

- 学部・学科紹介
- 経済学科ゼミ紹介・経営学科ゼミ紹介
- 模擬授業・Q&A
- 個別相談コーナー
(入試・カリキュラム情報等)



理学部

場所: 【午前】総合教育研究棟
【午後】理学部棟

- 全体説明会(概要説明・学生生活について)
- 模擬授業(8日:生物学科, 9日:数学科)
- 模擬授業・学生との懇談会(数学科)
- 模擬授業・実験デモ・研究紹介・学生との
懇談会(物理学科)
- 模擬授業・研究室見学(化学科)
- 学科ガイダンス・模擬授業・研究室見学
(生物学科)
- 研究紹介・標本展示・学生との懇談会
(地質科学科)
- 学科ガイダンス・模擬授業・研究室見学・
学生との懇談会(自然環境科学科)
- 研究紹介他(物理科学科)
- 研究紹介・ポスター展示(化学科・生物科学科)
- ミュージアム開放(地質科学科)
- パネルによる学科紹介・学生の自主ゼミ紹介
(自然環境科学科)



人文学部

場所: 総合教育研究棟

- 全体説明会
- 模擬講義
- 学生による講義(表現プロジェクト演習)紹介
- ビデオ上映+学生による大学紹介
- 留学生と学生による留学体験紹介
- 主専攻プログラム展示及び履修相談
- 第3年次編入相談ブース
- 新潟大学GP紹介ブース
- 学部の研究成果・出版物展示



教育学部

場所: 教育学部棟

- 全体説明会(入試概要・教育課程及び
就職・進学等について)
- 体験実習(各専修等別)
- 在学生によるアドバイスタイム(各課程別)



法学部

場所: 人文社会科学系棟

- 全体説明会
- 在学生による座談会
- 模擬ゼミ
- 模擬授業
- 入試・進学相談コーナー



オープンキャンパス クロストーク

オープンキャンパスの参加経験を持つ学生と
担当スタッフとの対談をお伝えします!

CROSS
TALK



今、「新潟大学に来て
良かったな」と
思っています

HPを見るだけでは
分からないことを
伝えられればいいなと

新潟大学
学務部入試課スタッフ
中村貴子さん

人文学部1年
林 将吾さん
(長野県・長野日大高校出身)

事前にいろいろ体験できて
すごく良かったですね

教育学部1年
林 あいさん
(新潟県・新潟高校出身)

大学のリアルな 姿に触れる機会



中村 去年のオープンキャンパスにはどんな形で参加されたんですか?

林(あ) 私は教育学部・学校教員養成課程の音楽専攻なんですけど、もともと音楽の先生になりたいくて新潟大学への進学を希望したので、オープンキャンパスでは、実際にどんな雰囲気の大学なのか知れたかったです。で、教育学部の音楽棟に行つて、そこでやってたコンサートを見たりしましたね。

中村 やっぱ直接来てもらって雰囲気を知っていたことが大事で——そういう風に、ホームページを見るだけでは分からないことを伝えたいです。

林(あ) そうですね。だから、オープンキャンパスには絶対参加した方がいいと思います

実際のキャンパス ライフをチェック



す。特に新潟の人は「近くにあるんだから、別に行かなくても……」って思っていたりしますけど、でも実際に行つて感じてみないと、いざ入学したときに困る部分もあったりすると思うので……。その辺は事前にいろいろ体験できてすごく良かったですね。

林(将) ……もう、今、全部言われちゃいました(笑)。やっぱり雰囲気とかを肌で感じないと分からないところが多々あるので、もしオープンキャンパスに行くかどうか迷っている人がいたら、ぜひ行ってみることをお勧めします!

中村 当日は学部ごとにいろんなプログラムを用意していますし、新大生が普段使っている教科書を見せてくれたりとか、新大生と交流を持てる企画もたくさんあるので、新潟大学をリアルに感じてもらえる日になりますからね。

中村 さて、そんなお二人は、この春に入学し、今、日々

をどういった印象で過ごしているんでしょうか?



林(将) あつ、その「人間性の良さ」はすごく感じてます。何か、新潟は明るい人が多い(笑)。僕も楽しくスタートできてますよ。あと、新潟大学は、キャンパスも広いし、その中でさまざまな学部が集っているから、いろんな人とかのかわりや繋がりができるじゃないですか? そこはすごく「新潟大学に来て良かったな!!」と思っている点ですね。



詳細は新潟大学ホームページへ <http://www.niigata-u.ac.jp/opencampus/>

新潟大学の「大学説明会」は県外8会場で実施しています!

栃木会場

開催日・時間
平成25年
9月16日(月・祝) 13:00~16:00

会場(栃木県宇都宮市駒生1丁目1-6)
コンサーレ(栃木県青年会館)

福島会場

開催日・時間
平成25年
9月29日(日) 13:00~16:00

会場(福島県郡山市朝日2丁目14-7)
JA郡山市会館

秋田会場

開催日・時間
平成25年
10月14日(月・祝) 12:30~15:30

会場(秋田県秋田市千秋久保町6番6号)
秋田県総合保健センター

富山会場

開催日・時間
平成25年
10月19日(土) 13:00~16:00

会場(富山県富山市総輪2丁目1-3)
富山商工会議所

東京会場

開催日・時間
平成25年
9月21日(土) 13:00~16:00

会場(東京都港区芝浦3丁目3-6)
キャンパスイノベーションセンター(CIC)東京

長野会場

開催日・時間
平成25年
9月29日(日) 13:00~16:00

会場(長野県長野市南長野北石堂町1177-3)
JA長野県ビル

群馬会場

開催日・時間
平成25年
10月14日(月・祝) 13:00~16:00

会場(群馬県高崎市間屋町2丁目7-8)
高崎商工会議所

山形会場

開催日・時間
平成25年
10月27日(日) 13:00~16:00

会場(山形県山形市木の実町12-37)
大手門パルス

オープンキャンパスについてのお問い合わせは 新潟大学学務部入試課 TEL. 025-262-6237/FAX. 025-262-7518

意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

授業紹介 — 教育の現場 —

第5回 法学部

吉田和比古 教授

Profile
専門は言語学および映像文化史。マス・メディア論〜ドラマの構造分析まで研究は多岐に渡る。



マス・メディア論

情報を主体的かつ批判的に受容していく力を養う

現代の情報化社会の中で私たちは、ある意味で情報弱者。それは少数者が作り出す膨大な情報を大衆がただ鵜呑みにすることの危険性を意味する。吉田教授が強調するのは大学教育における「メディア・リテラシー」の重要性だ。「情報を主体的かつ批判的に受容していく力が、社会人になってからはいっそう必要になります。そのため私の授業では、思考力の育成のためにテレビや映画などの映像コンテンツを積極的に活用しています」。合理的思考、批判的思考そして健全な懐疑論者になるということが、社会

で主体的に生きていく上では不可欠。講義に挑む学生に教授が伝えたいメッセージとは？「一言で言うと“センス・オブ・ワンダー”。つまり何でも当たり前と思わず“不思議と思う豊かな感受性”を磨いてほしい。何でもわかっているかのような常識人ぶった顔で、社会生活をするのではなく、日常の中のどんな些細なことでも、ちょっと立ち止まって一度は疑いの目を向けてみる。あるいは、社会が一般的に認定している常識的なものの見方・考え方でも一度は疑ってみる、そういった学びの姿勢を持ち続けてほしいと思います」。



STUDENTS VOICE

「ドキュメンタリーなどの映像を使って実際にメディア・リテラシーを体感できる実践的な講義です」(遠藤)「ユーモアを交えながら毎回さまざまな題材を与えてくれる楽しい時間。先生は、学生ひとりひとりの意見や捉え方を尊重し、次の時間に取り入れてくれます」(生田)



右 生田 愛さん(法学部2年)
左 遠藤 梓さん(法学部3年)



田巻帝子 准教授

Profile
専攻は法社会学。家族法やジェンダー法の領域にまたがってさまざまなテーマで研究。



法政演習(法社会学2013 I・II)

家族に関する問題を素材として学習 社会性を身につけさせることも意識

法社会学とは、法律や社会の仕組みと実態がどのように関わり合っているのかに着目する学問。田巻ゼミでは、特に家族に関する問題を素材として学習。学生は結婚・離婚・相続・介護・子育てなどのテーマを選び、その背景や状況、解決方法について分析・検討し全員で討論している。「当ゼミは3・4年合同で行っています。特に目玉は、3年生の後期にチームに分かれて行う研究です。テーマに関する実態を観察することが法社会学において重要であるため、文献調査に限らず関係者を実際に訪問するフィールド

ワークを行い、翌年にその成果を発表しています。我々の日常生活に密接にかかわる問題について、みんなで話し合いをしていくことで、自らの問題として向き合うことができ、有効な視点を養うことができるのではと考えています」。また、ゼミでは社会性を身につけさせることも意識。「適切な挨拶や言葉遣いで、自分の考えをわかりやすく話すことが重要。また、積極的な発言は“自分のため”であるとともに“他の人のため”でもあることを理解できれば、社会性が涵養されると思っています」。

STUDENTS VOICE

「ゼミ中、必ずひとり一回は発言するというのが田巻ゼミのルール。“相手に分かりやすく伝える話し方”を常に意識しています」(松枝)「3年・4年合同のゼミは、先輩の意見を直に受け取れて勉強になります。社会と法の関わり方を理解し、自分の生活に活かしたいと思います」(津久井)



右 松枝千恵美さん(法学部4年)
左 津久井 篤さん(法学部3年)

専門的な知識や技術の修得と、均整の取れた知識の獲得は教育の重要な役割。約5000 科目の中から特色ある授業を紹介。



学生の未来と夢をサポートする独自の制度 輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金

「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」受給者と下條学長との懇談会



新潟大学長
下條文武

「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」は、本学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念せざるを得ない学業優秀な者に対して、入学時に必要となる学資の一部を奨学金として給付する制度で、平成22年度に創設されました。懇談会は今年で3回目。開会后、下條学長から、「奨学生の皆さんには積極的に学ぶ姿勢を持ち、みなさんの未来が輝くものになるよう有意義な学生生活を過ごして欲しい」との挨拶がありました。続いて、

「輝け未来!! 奨学生2名から「サークルに所属したことがきっかけで、大学から新しく始めた手話の検定を受けるなど、これから様々なことに積極的に取り組みたい」「奨学金の受給が決まったとき、母と手を取り喜び合った。これまでに支えてくれたたくさんの人に恩返しできるように頑張りたい」などと現在の状況や今後の抱負について発表があった後、懇談を行いました。最後に生田理事(教育担当)・副学長から、「奨学生として誇りを持って、他の学生や後輩の模範となるよう頑張ってください。今後の活躍を期待している」と激励がありました。



法学部 1年(新潟県上越市出身)
草間杏美(くさまあずみ)さん



理事(教育担当)・副学長
生田孝至



工学部 1年(新潟県五泉市出身)
松井郁人(まついいくと)さん



輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金の概要

POINT 1
入学前に
40万円を支給!

入学時経費
心配不要!

POINT 2
寮宿料を免除!

住居
心配不要!

POINT 3
在学中は、授業料
免除・各種奨学金!

仕送り不要!

入学時に必要となる入学金や、新生活を始めるにあたって必要となる学費の一部を奨学金(40万円・返還不要)として給付します。

学生寮への入寮希望者に対しては、学生寮(五十嵐寮)を優先的に確保し、最短修業年限までの寮宿料を免除します。

授業料免除制度や新潟大学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金などを組み合わせることによって、4年間を通して保護者から経済的支援を受けずに学生生活を過ごすことが可能です。

入学時

■輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金(一時金:40万円)
■入学金免除／徴収猶予制度

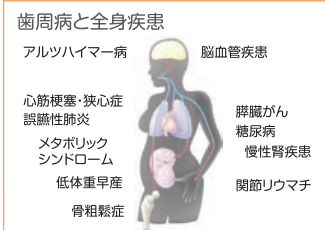
在学中

■授業料免除／徴収猶予制度
■新潟大学学業成績優秀者奨学金(一時金:10万円)
■新潟大学修学応援特別奨学金(月額3万円・12ヶ月限度)
■新潟大学修学支援貸与金制度(5~10万円)
■他団体奨学金:日本学生支援機構奨学金 など

※上記各制度を組み合わせるの活用も可能

研究課題

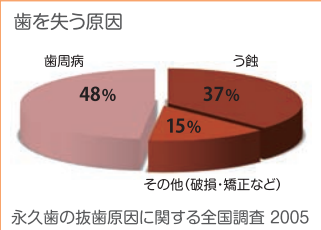
歯周疾患が全身に与える影響に関するメカニズムの解明



↑歯周病は様々な病気を悪化させるリスクを高める



↑歯と歯茎の境目に「歯周ポケット」を作り病状が進行



↑歯を失う原因で一番高い割合を占めるのが歯周病

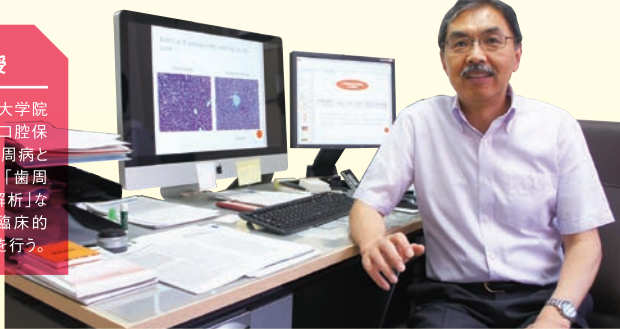
歯周病は全身の炎症状態を作りだし、全身疾患のリスクを高める

食べ物の磨き残しなどが原因で細菌が増殖。歯と歯茎の境目で炎症を起し、悪化すれば骨を溶かし歯を失う危険性のある病気として知られている歯周病。さらに歯周病は口内だけの問題ではなく、全身へ影響を及ぼす危険があるという。「現在では、歯周病の病変部から細菌が侵入することなどにより全身的にいく軽度な炎症を持続させ、様々な病気を引き起こすリスクが高まるということが分かっていきます。心筋梗塞や狭心症、糖尿病など病気は多岐に渡ります」。山崎教授らの研究グループでは2011年、歯周病が動脈硬化症を悪化させるメカニズムを解明。歯周病の病原菌には、動脈硬化の原因の「悪玉コレステロール」を回収する力を持つ「善玉コレステロール」を減らす作用があることを突き止めた。現在、これまでは

全く異なる新たなメカニズムについて研究を進めている。「歯周病は全身疾患に繋がる病気として理解することが大切。正しい歯磨きをして、定期的に歯科医院を受診するのが正しい予防法。口は体の入口です。常に清潔な状態にしておくことが健康にとって大切なことだと思っています」。

山崎和久 教授

歯学博士。新潟大学大学院歯医学総合研究科 口腔保健学分野 教授。「歯周病と動脈硬化症の関連」「歯周病の免疫学的病態解析」など、歯周病に関する臨床的および基礎的な研究を行う。



自然科学系(農学部) 藤村 忍 准教授



↑藤村准教授と共に研究する農学部の学生たち



藤村 忍 准教授

1995年、新潟大学にて博士取得。専門は食品科学で、2002年より新潟大学農学部応用生物化学科の准教授に。産学官が共同で県内外の食を研究する「地域連携フードサイエンスセンター」の事務局長も務める

研究課題

災害発生時とその後の避難生活に必要な「災害食」を研究・開発

各学部の研究者、そして産学官が連携し、被災時に有効な食料=災害食を世に送り出す



↑既にたくさんの災害食が開発されている

近年、二度の大地震を経験した新潟県には、食に関する企業が1,000社以上もあると言われている。この背景から藤村准教授は「災害食」を研究対象としている。「被災時にはできるだけおいしく、温かい食事があれば、前向きな気持ちになれます。また、避難所には幼児からお年寄りまで多様な人がいるため、栄養

制限やアレルギーなどの個々の状態を考慮しなければなりません。こうした観点からの研究は全国的に希で、さまざまな人に対応できる機能的でおいしい災害食の研究を進めています」。災害食の研究は、関連する分野との学際的な連携が不可欠である。そのため、藤村准教授が事務局長を務める新潟大学地域連携フードサイエンスセンターには、農学系、工学系、歯学系、医学系、教育学系の教員が所属している。「さまざまな分野の教員が集まり、食品メーカーと連携して、研究開発することが同センターの特徴であり役割です」と藤村准教授は語る。非常食から被災時に有効となる災害食へ。新潟発のユニークな取り組みとして、全国から関心が寄せられている。今夏には「日本災害食学会」を設立し、研究を加速させる。

新潟大学の特色ある研究トピックを紹介

注目される研究報告

新潟大学では、伝統的な学問分野を継承するとともに、専門分野を超えて連携し合う研究や、先端的な研究など、真理探究や社会の発展に貢献する研究を行っています。

Enjoy!

学生ライフ

学生にとっては、部活に代表される課外活動も大切な青春の1ページですね! このコーナーでは、そんな部活動を中心とした新大生の活躍をお届けします!!

CIRCLE PICK UP!

ベスト記録を目指し奮闘中 水泳部



↑部員同士が気軽に話せる楽しい雰囲気も新大水泳部の魅力

楽しく、そして厳しく 日々練習に励む!

「水泳部は男女合わせて部員34名、マネージャー3名。朝と放課後合わせて週に6回、アクシー中央やメイワサンピアなどで活動しています。今は8月に行われる『全国国公立大学選手権』に向けて、部員全員でどんどんモチベーションを上げている最中。日々の練習にも熱が入っています。真剣に競技に打ち込むことができる貴重な大学生活だからこそ、それぞれが高い目標を持って練習を行っています!」

主将 佐藤卓磨さん(教育学部3年)



CIRCLE PICK UP!

男女混声のハーモニーを響かせる 合唱団



↑合唱祭(2013年)を無事に終えて笑顔で集合撮影

満足のいく演奏を目指し 一丸となって活動

「団員は56名。週に3回、五十嵐キャンパス周辺で練習を行っています。個性的な人が多くて、先輩後輩関係なく仲がよいので、練習の雰囲気はとても良いですよ! (鈴木さん)。「コンクールの成績はもちろん、12月の定期演奏会で納得のいく演奏を披露することが最大の目標。特に来年は節目の50回を迎えるので、そこに向けて全員で成長していきたいと思っています! (横さん)」

左→右) 団長 鈴木裕亮さん(工学部3年) 副団長 横ひろみさん(人文学部3年)

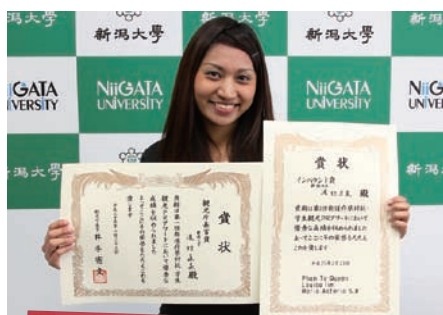


CAMPUS TOPICS!

「都道府県対抗第1回学生観光PRアワード」で 本学学生が観光庁長官賞等を受賞

全国47都道府県66大学の学生が、方言で自分の住む地域を国内外にPRする企画「都道府県対抗第1回学生観光PRアワード」の決勝戦が2月23日(土)に東京情報大学で開催され、法学部4年の渡辺直美さんが観光庁長官賞、インバウンド賞を受賞しました。決勝戦では、新潟の特産物や燕市の洋食器などの話題を盛り込んだ地元PRを行いました。

→今後、地元の観光情報を発信する「ガクチカ観光アワード親善大使」としての活躍にも期待



「いもジェンヌスイーツまつり」で 新大生が関連商品をPRしました

4月29日(月・祝)に新潟ふるさと村で「いもジェンヌスイーツまつり」が開催され、新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」を利用したスイーツの各店舗による試食販売が行われました。会場には、「いもジェンヌ」関連商品の開発に加わった本学教育学部生活科学課程の学生

も参加し、商品PRを行うなど、各店舗と協力して販売を促進しました。参加した学生からは「新潟砂丘さつまいも『いもジェンヌ』を全国に広めたい」「地元農作物を活かして地域活性化に繋がりたい」との声が聞かれ、この取組をより発展させようとする意気込みが感じられました。

→学生と菓子業者が連携して開発した「いもジェンヌちゃん」のティータイム!



鍋島陽一氏(本学卒業生)が日本学士院賞を受賞されました

本学の卒業生で医学部助手としても勤務された、鍋島陽一氏(京都大学名誉教授)が第103回(平成25年)日本学士院賞を受賞されました。同賞は、学術上特に優れた研究業績に対して贈られるもので日本の学術賞としては最も権威ある賞です。対象となった研究題目は「Klotho familyの発見とその分子機能の解析を基盤とした生体恒常性維持機

構の研究」で、鍋島氏の研究は、ヒト老化疾患の予防、治療法の開発、ひいては健康な老化の実現に道を開くものです。鍋島氏は、現在、本学研究推進機構の超域学術院運営委員会や若手研究者の育成プログラム(テニュア・トラック)人事選考委員会の学外委員を務めるなど、本学の教育研究の高度化に多大な貢献をされています。



農学部同窓会創立60周年記念事業の開催



6月8日(土)に本学農学部同窓会の創立60周年を記念した式典・祝賀会が開催され、250人を超える同窓生が出席しました。中央図書館ライブラリホールで行われた式典では、進藤農学部同窓会長の挨拶、下條学長及び新村農学部長の祝辞の後、“嵐丘庭”整備事業の目録贈呈等が行われました。ホテルオークラ新潟に会場を移しての祝賀会では、三沢実行委員長の挨拶の後、下條学長、新村学部長、多和田全学同窓会長、村上首都圏支部長、小林同窓会顧問、進藤同窓会長、三沢実行委員長による鏡開きが行われ、会場から盛大な拍手が贈られていました。各テーブルでは、在学時の思い出話や近況報告など旧交を温め、終始和やかな雰囲気包まれていました。

同窓生の皆様へ!

新潟大学季刊誌『六花』
無料ご送付します。



新潟大学が取り組むさまざまな活動や教育研究、学生の活躍などが満載の『六花』を同窓生の皆様へ無料でお届けします。ご希望の方は、巻末に記載の広報センター(rikka@adm.niigata-u.ac.jp)までメールにてお申込みください。

農学部“嵐丘庭”が生まれ変わりました

これまで、農学部の中庭として親しまれてきた「嵐丘庭(らんきゅうてい)」が農学部同窓会創立60周年を記念して同窓会からの支援により前庭と一体的に整備されました。植樹されたのは新潟県の代表的な森林群落を構成する樹木であり、現在は苗木ですが学生・教職員、同窓生たちが管理をして10年後、20年後にはその中を散策できる郷土の森に育てていこうという、「同窓生と学生の思いを、未来へつなげる森づくり」がコンセプトです。庭内には、苗木ごとに説明プレートが配置されるとともに、360度見渡せる木製(加茂の間伐材を使用)の遊歩道が敷かれ、癒しの空間となっています。新潟大学にお越しの際には是非、お立ち寄りください。



彼らの頃までは
古い学生気質が
残っていたんです



——まず西澤先生、今回、この3人と対談しようと思われた理由は？
西澤 学年はひとつ違うんだけど、大倉君も一ノ瀬君もゼミ長だったということがあり——また、結婚式に出させてもらったり、彼らとは卒業後もお付き合いしているんですね。
大倉(博) 先生には私たちの仲間もしていただいた

恩師と語らう懐かしの時代
シリーズ・対談
恩 師: 西澤輝泰 名誉教授
教え子: 大倉隆陸さん 大倉(旧姓:角井)博美さん 一ノ瀬正行さん
【平成4・5年3月 経済学部卒業】
対談・撮影場所／新潟市 信濃川やすらぎ堤近辺

——その自由な雰囲気は、理論のみならず人としての交流も紡いでいこうと、先生が意識して作り出したものだったんですか？
西澤 まあ、それを狙ってやったとか言えばカッコいいんだけど(笑)、実は僕自身そういうことが好きで、自然にそうなるっていったってだけなんだよね。また、彼らの時代はそれでうまくいったんです。だけど、だんだん学生がそういう付き合いを嫌がるようになって……この人たちの5、6年後くらいに、なかなか、コンパも嫌がるし、ゼミ旅行も成り立たなくなっている。それは、気のあった

——……あのお、いったい何のゼミだったんですか(笑)？
大倉(隆) 一応、ロジスティックス(輸送戦略)などを勉強していたんですが(笑)。とにかく、とても自由な感じのゼミだったんです。
大倉(博) 弥彦にドライブに行ったりとかね。
——でも、そう言える関係は素敵だな、と感じます。
大倉(隆) やっぱ、大学の4年間を振り返ると、先生やみんなと時間を共有したゼミでの思い出が——勉強だけでなく遊びもたくさんあったわけだけど——それがすごく大切な時間だったし、良い大学生生活の象徴みたいな感じで今も残っていますね。
大倉(博) こう言うのと失礼なんですけど、大学時代は、先生とはお友達感覚でいるんなことをお話しした

——実際、ゼミではどんなことを学ばれていたんでしょうか？
一ノ瀬 ……いや、正直、ゼミですごく勉強した記憶はないんですよ(苦笑)。西澤先生とみんなですきー合宿に行った、だとか……。
大倉(隆) あと、「みんなでテニスをしたな」とか……。
大倉(博) 弥彦にドライブに行ったりとかね。
——でも、そう言える関係は素敵だな、と感じます。
大倉(隆) やっぱ、大学の4年間を振り返ると、先生やみんなと時間を共有したゼミでの思い出が——勉強だけでなく遊びもたくさんあったわけだけど——それがすごく大切な時間だったし、良い大学生生活の象徴みたいな感じで今も残っていますね。
大倉(博) こう言うのと失礼なんですけど、大学時代は、先生とはお友達感覚でいるんなことをお話しした

——でも、そう言える関係は素敵だな、と感じます。
大倉(隆) やっぱ、大学の4年間を振り返ると、先生やみんなと時間を共有したゼミでの思い出が——勉強だけでなく遊びもたくさんあったわけだけど——それがすごく大切な時間だったし、良い大学生生活の象徴みたいな感じで今も残っていますね。
大倉(博) こう言うのと失礼なんですけど、大学時代は、先生とはお友達感覚でいるんなことをお話しした

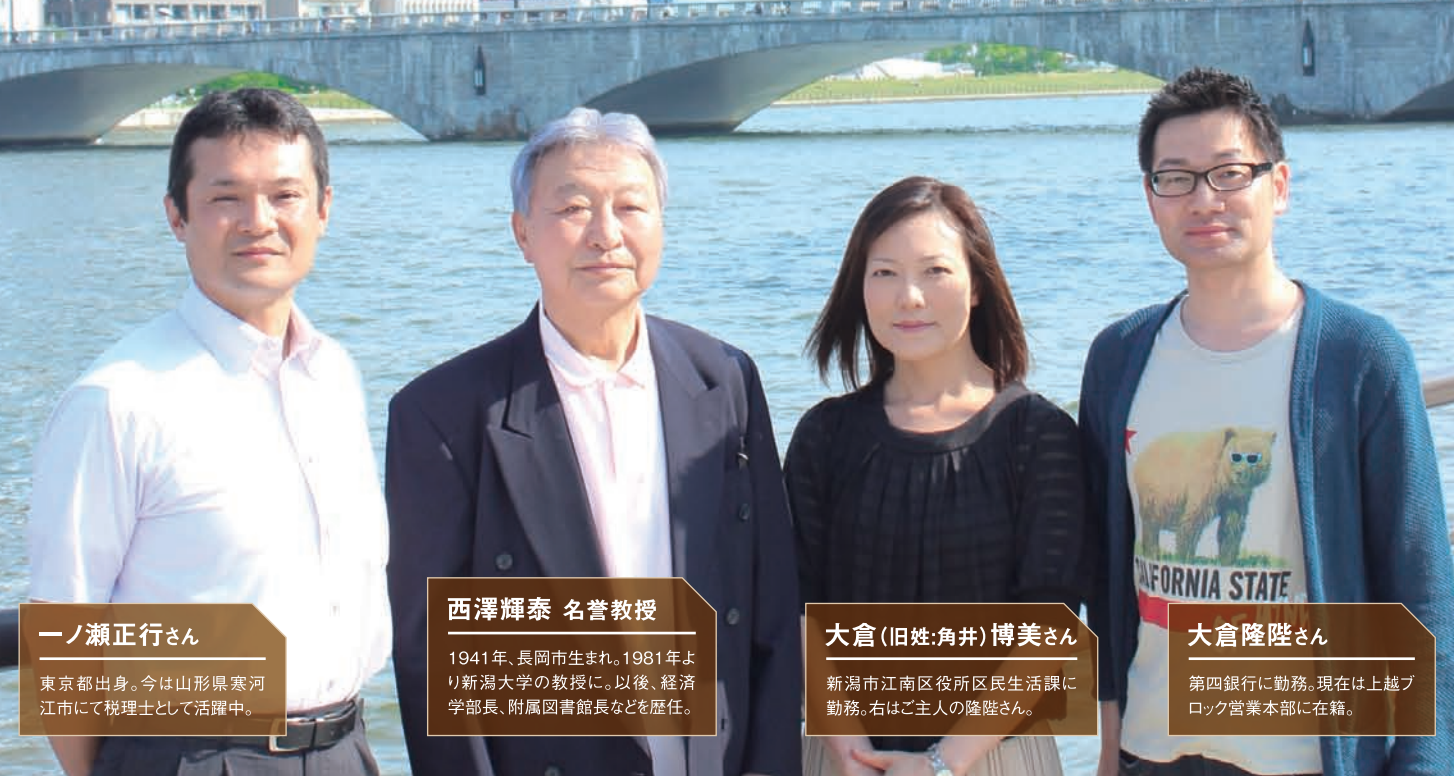


数人で行くならともかく、ゼミという単位で旅行に行くなんて考えられない。実際、今は会社でも社員旅行とか少なくなっているでしょう？ 要するに、この人たちの頃までは古い学生の気質が残っていた時代なんです。そんななかでの、まあ、早い話が、彼らとは遊び仲間なんですけどね(笑)。

——でも、そう言える関係は素敵だな、と感じます。
大倉(隆) やっぱ、大学の4年間を振り返ると、先生やみんなと時間を共有したゼミでの思い出が——勉強だけでなく遊びもたくさんあったわけだけど——それがすごく大切な時間だったし、良い大学生生活の象徴みたいな感じで今も残っていますね。
大倉(博) こう言うのと失礼なんですけど、大学時代は、先生とはお友達感覚でいるんなことをお話しした

——でも、そう言える関係は素敵だな、と感じます。
大倉(隆) やっぱ、大学の4年間を振り返ると、先生やみんなと時間を共有したゼミでの思い出が——勉強だけでなく遊びもたくさんあったわけだけど——それがすごく大切な時間だったし、良い大学生生活の象徴みたいな感じで今も残っていますね。
大倉(博) こう言うのと失礼なんですけど、大学時代は、先生とはお友達感覚でいるんなことをお話しした

り、ふざけたりしていたんです。で、卒業後、仕事をしているなかで「……実は西澤先生っていろんな活動をされている、とても忙しくて偉い方だったんだな」と気づいて(笑)。でも、そういう先生とこうしてお付き合いさせていたって、「人生の中ですごく大きな存在なんだな」と改めて感じています。



一ノ瀬正行さん

東京都出身。今は山形県寒河江市にて税理士として活躍中。

西澤輝泰 名誉教授

1941年、長岡市生まれ。1981年より新潟大学の教授に。以後、経済学部長、附属図書館長などを歴任。

大倉(旧姓:角井)博美さん

新潟市江南区役所区民生活課に勤務。右はご主人の隆陸さん。

大倉隆陸さん

第四銀行に勤務。現在は上越ブロック営業本部に在籍。

Campus Information

地域に密着しながらさまざまな活動が続ける新潟大学。皆さんにお伝えしたいニュースはたくさんあります!

新潟大学と全学同窓会との交流会 「記念講演会・懇親会」のご案内

開催日時 平成25年10月26日(土)
【講演会】15:00~17:00(入場無料)
【懇親会】17:30~19:30(会費5,000円)

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

毎年秋の恒例行事「新潟大学と全学同窓会との交流会」を開催します。今年は、森正勝氏(学校法人 国際大学理事、昭和44年人文学部卒)を講師に迎え、「成長戦略と人材育成」と題してご講演いただきます。また、当日は在学生から、「就職活動の現状」を発表します。講演会終了後は、同窓生同士だけでなく教職員・学生との懇親の場もご用意しましたので、楽しいひと時をお過ごしください。なお、新潟大学卒業生に限らずご参加いただけますので、お誘いあわせの上お越しください。



森正勝氏

より健全なキャンパス環境を目指して 全面禁煙スタート



平成15年に施行された健康増進法等を踏まえ、これまでキャンパス内における受動喫煙防止の措置を講じてきました。大学は、未成年の学生を含め多くの人々が集まる公共性の高い場であることから、指定された喫煙場所以外をすべて禁煙とし、キャンパス内全面禁煙の健全な環境を目指す「新潟大学喫煙対策基本方針」(平成23年5月27日 施設環境委員会決定)を定めました。本学では、この方針に基づき、平成25年4月1日からキャンパス内を全面禁煙としています。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

卒業生と母校との絆、ポケットに「新潟大学カード」入会受付中!

新潟大学全学同窓会では、新潟大学の発展を支援し、学部間の枠を超えた同窓会員へのサービスと連携を深める目的で、三菱UFJニコスと提携してクレジット機能付きVISA国際カード「新潟大学カード」を発行しています。

●新潟大学カードに関するお問い合わせ先

新潟大学全学同窓会事務局 電話:025-262-7891(受付時間 平日10:00~15:00)
E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



新潟大学基金のお知らせ ぜひご協力ください

「新潟大学基金」は、皆様からのご寄附を基に、学生の修学支援や、国際交流活動等、魅力ある大学作りのために活用しています。ご寄附をいただいた場合、税法上の優遇措置が受けられる他、特典もご用意しております。詳しくは基金ホームページをご覧ください。

●基金ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/kikin/index.html>

新潟大学基金事務局 電話:025-262-5651(受付時間 平日9:00~17:00)
FAX:025-262-6679 E-mail:kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp



新潟大学 季刊広報誌 **六花** RIKKA No.5
2013.Summer

発行/平成25年7月
編集/新潟大学広報センター
(新潟市西区五十嵐2の町8050番地)
電話/025-262-7500 FAX/025-262-6539
Home Page <http://www.niigata-u.ac.jp/>
E-mail rikka@adm.niigata-u.ac.jp

編集後記

初夏のうらかな日とりとなったとある土曜日に、名誉教授とOB・OGの対談企画を行いました。思い出を懐かしみながら、和やかに進みつつも、母校に対する愛情や更なる発展への期待が、そこはかとなく感じられる時間でした。支えてくれる方々に応えるため、ますます努力しなければならない。思いを新たにしたい一日となりました。(O)